

「2025年度秋季研究発表大会」のお知らせ

更新履歴

8月6日：「2025年度秋季研究発表大会」のお知らせを公開（v1）

第40回 国際P2M学会 研究発表大会 The 40th Congress of International P2M Association

国際P2M学会創立20周年記念

2025年度の国際P2M学会秋季研究発表大会を、下記の要領にて開催いたします。つきましては、会員の皆様の研究発表を募集いたします。発表ご希望の会員は、以下の申し込み要領をご参照のうえ、期限までにお申し込みください。なお、本大会は千葉工業大学津田沼キャンパス会場において対面にて形式にて開催いたします（今回はハイブリッド開催ではありません）。

1. 開催日・形式

開催日 : 2025年11月2日（日）
開催校 : 千葉工業大学
会場 : 千葉工業大学 津田沼キャンパス
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1
受付開始時刻・場所 : 9:00、7号館4階
最寄駅 : JR 総武線／津田沼駅《南口》 徒歩1分
京成線／京成津田沼駅下車《北口》 徒歩10分
新京成線／新津田沼駅下車 徒歩3分
アクセスマップ : <https://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma/>
キャンパスマップ : <https://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma/>

2. 開催団体に関する情報

主催 : 一般社団法人 国際P2M学会（※）
共催 : 千葉工業大学
会長 : 国際P2M学会会長 亀山秀雄
大会実行委員長 : 新谷 幸弘（千葉工業大学 教授）
大会実行副委員長 : 下田 篤（千葉工業大学 教授）
企画委員長 : 小笠原 秀人（千葉工業大学 教授）
企画副委員長 : 新谷 幸弘（千葉工業大学 教授）
岡田 公治（東京都市大学 教授）
企画委員 : 山本 秀男、白井 久美子、石川 千尋、阿部 智恵
編集委員長 : 武富 為嗣

予稿集編集長 : 加藤 智之

予稿集編集委員 : 中野 健太郎、長島 匠

※ 一般社団法人 国際 P2M 学会 : 国際 P2M 学会事務局 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5
アカデミーセンター(平日 : 10 時～17 時) TEL: 03-6824-9371/FAX:03-5227-8631

3. 大会趣旨

第 40 回研究発表大会は国際 P2M 学会創立 20 周年記念として開催します。具体的には、国際 P2M 学会の 2 つのミッションとビジョンをベースとして、これらからの活動について広く議論し、さまざまな領域で参加者のひとりひとりがプログラム＆プロジェクトマネジメントの活動をより効果的に実践できるようにするための新たな起点としたいと考えています。

2 つのミッション :

- (1) 本学会は、オーナーの視点に立って、経営システムと技術システムを統合するプログラムマネジメントの知識体系の深化と実践研究を推進する事により、顧客の価値獲得を重視した共存共栄共創の持続可能な社会の構築に貢献する。
- (2) 本学会は、組織の全体使命のもとで複数のプロジェクトを有機的にマネジメントし、創造的統合マネジメントスキル手法を活用して、構想（スキーム）・構築(システム)・運営（サービス）が連結・交差した（3S モデル）構成からなるプログラムマネジメントの知識体系を社会に提供する。

2 つのビジョン :

- (1) 国際社会への発信 : 日本が世界に遅れを取っているビジネス効率性の低い要因である経営プラクティス分野の強化のためにプログラムマネジメントの知識体系が有効であることを具体的に社会に発信する。
- (2) 人材育成への貢献 : 政府のリスキリング支援のなかで、マネジメント人材育成支援を学会の方針として、さまざまな組織と連携し人材育成のための活動を行う。

本大会では、国際 P2M 学会が掲げる上記 2 つのミッションとビジョンをベースとした議論をととして、プログラム＆プロジェクトを軸に議論を深めていきたいと考えています。多くの方々の参加をお待ち申し上げます。

4. 大会スケジュール（予定）

(1) 午前 : 研究発表の部

9:20 - 12:00 研究発表／特別セッション

(2) 午後 : 講演とラウンドテーブル

12:00 - 13:00 昼食休憩

13:00 - 13:10 開会挨拶、開催校挨拶

13:10 - 13:20 表彰／表彰講演

13:20 - 14:00 記念講演

14:00 - 14:40 基調講演
14:40 - 15:00 休憩
15:00 - 15:50 国際 P2M 学会 Vision2030 策定委員会報告
15:50 - 16:00 ラウンドテーブルの準備
16:00 - 17:00 ラウンドテーブル
17:00 - 17:10 休憩
17:10 - 17:20 閉会挨拶

5. 研究発表大会参加費関連

◆ 大会参加費 : 今大会の参加費支払いは 全て事前振込みのみにて受け付けます。

会員	: 正会員、法人会員に所属の方	9,000 円
	: 学生会員	3,000 円
非会員	: 社会人、社会人学生	12,000 円
	: 学生、大学院生	5,000 円

下記学会の銀行口座宛にお振込下さい。(振込最終締切: 2025 年 10 月 24 日 (金))

10 月 25 日 (土) 以降は、参加申込ならびに参加費振込の受付は致しません。

また、10 月 24 日 (金) 迄に未振込の場合は、投稿論文を予稿集に掲載致しません。

※会員価格での学会誌掲載料 (50,000 円) を希望する方は、遅くとも 2025 年 10 月 17 日

(金) までに入会手続きを済ませてください。新規入会には、上記参加費とは別に、正会員が 12,000 円 (入会金 2,000 円、年会費 10,000 円。社会人学生を含みます)、学生会員が 6,000 円 (入会金 1,000 円、年会費 5,000 円)、必要となります。

尚、入会費の振込み先は ホームページ及び入会申請フォームに記載の「ゆうちょ」口座です。大会参加費振込口座とは異なりますのでご注意ください。

入会手続きの詳細は、学会ホームページから、こちらをご覧ください

→ <http://iap2m.org/accept>

◆ 午後の部 (講演とラウンドテーブル) のみの参加費用: 3,000 円 (会員・非会員とも)

◆ 情報交換会費用: 4,500 円【当日払い: 5,500 円】

◆ 大会参加費振込み先銀行口座:

三井住友銀行 (銀行コード: 0009)

飯田橋支店 (店番号: 888)

普通預金 (口座番号: 7098073)

口座名義 (一般社団法人 国際 P2M 学会)

※大会参加費の領収書は、入金後、領収書 (PDF) をメールで送付いたします。宛先の指定がない場合は本人宛の領収書になりますので、ご注意下さい。

◆ 留意事項

※ 振込済みの参加費は、不参加の場合でも返金できません。

6. 参加申し込み方法

◆ 参加申込期限

論文投稿者：10月17日（金）迄に申込み登録を済ませてください。

大会参加のみの方：参加費振込の締切 10月24日（金）迄に申込登録を済ませてください。

◆ 研究発表大会参加申込みはこちらから（注．発表者も、申込み登録が必要です）

https://www.iap2m.org/regist_taikai.html

◆ 参加登録に関する参考情報

ブラウザが Internet Explorer の場合、バージョンが新しいと無応答になる場合があります。

次の操作を参考にして下さい。<http://www.iap2m.org/pdf/ie201309.pdf>

7. 発表者への要旨と予稿の投稿登録に関するご案内

◆ 要旨の投稿期限及び投稿方法・学会誌掲載料

要旨投稿期限：2025年9月29日（月）23時59分

投稿方法：要旨は、次の URL から、web 登録画面に従い入力して下さい。

http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html

査読選択：予稿論文の審査を希望される方は、査読希望「●有」を画面上で選択してください。

採択後の学会誌掲載料：50,000 円（会員）, 150,000 円（非会員）

◆ 発表投稿期限及び投稿形式・方法

発表予稿投稿期限：2025年10月14日（火）18時

（厳守 ※締切後の投稿は一切受け付けられません。）

投稿形式：スライド形式のみの予稿も歓迎します。但し、その場合、査読は選択できません。

投稿方法：要旨投稿時に登録されたメールアドレスに、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。それに従い、MS-Word および PDF 形式の予稿を投稿してください。

◆ 受付メール確認のお願い

要旨及び予稿投稿締切後、編集委員より受付メールを登録アドレス宛に送信します。

なお「(at)iap2m.org（(at)を@に読みかえてください。）」のドメインから届くメールが、迷惑メールフォルダに入らないように設定してください。万が一、着信しなかった場合は、下記学会事務局宛にお問い合わせ下さい。

国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

◆ 査読を希望される方へ

査読論文：当学会では、予稿が査読論文として審査されます。ただし、発表された論文に限ります。

頁数 : 最大 20 ページ

論文形式 : 本学会 HP「学会論文関連情報」(下記 URL)にある規程等(「国際 P2M 学会誌投稿規程」、「学会論文投稿規程補足」ほか)を遵守してください。また「学会論文サンプル」も下記 URL に掲載されていますので、ご活用ください。

学会論文関連情報 : <http://iap2m.org/ronbun-info/>

補 足 :

- (1) 予稿集に掲載された論文は、辞退などにより発表されなかった場合も、同じ内容では再投稿はできません。
- (2) 予稿に P2M との関連性と関連参考文献を明記願います。当学会の過去の論文誌は、J-stage から閲覧できます。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iappmjour/-char/ja>
- (3) 論文執筆経験が浅い方は、「8. P2M セミナー動画の掲載」にある Youtube「IAP2M チャンネル」にある論文の書き方に関する動画を視聴するほか、学術論文作成経験者から論文作成の指導を受けることをお勧めします。またスライドではなく論文を予稿として投稿される方は、英文要旨(または英文本文)について、可能な限り英文としての品質向上に努めて下さい。

◆ 予稿提出期限の延長申請

発表時のコメントなどを参考に今大会で提出された予稿を改訂し、次期大会に査読用論文として提出できます。

- (1) 研究発表大会の発表者は、要旨を提出する際、査読希望の有無を申告する。
- (2) 査読を希望する発表者は、今大会の予稿論文を期限までに提出する。
- (3) 査読を希望する予稿提出者には、予稿提出後、編集委員または大会企画委員から、a) その予稿論文で査読を希望するのか、b) 改めて提出する修正研究論文の査読を希望するのかをメールで確認しますので、返信時に a) か b) のどちらかを回答する。
- (4) 上記 3.b) の修正研究論文(但し、論文タイトルと要旨の変更は予稿と同じでなければならぬ)は、次の大会の予稿提出期間中(次大会の要旨提出締切日～予稿提出締切日の間)に提出されなければならない。
- (5) 査読部会と編集委員長は、次期大会の論文審査時に、上記 3.b) の論文を含めて審査する。

◆ 発表方法 : 発表者に対して別途メールにて連絡いたします。

◆ 発表時間(予定) : 発表 15 分以内、質疑応答 5 分(全体で 20 分以内)

◆ 発表奨励賞 : 受賞者を選出し 12 月中旬頃に学会ホームページ上に掲載し表彰します。

8. P2M セミナー動画の掲載

国際 P2M 学会では、P2M の基礎知識、事例による P2M の理解、適用事例や、論文の書き方について、本学会ベテラン講師陣が分かりやすく解説した次のセミナー動画(YouTube)を作成しています。P2M に関する知識を深めたい方、論文執筆経験の浅い方など、広くご視聴いただければ幸いです。詳しくは、次のリンクをご参照ください。

<http://iap2m.org/youtube/>

9. お問い合わせ先 : 国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

会場案内



JR 総武線

津田沼駅 駅前（南口）

徒歩 1 分 <東京駅から

快速で 28 分>

京成線

京成津田沼駅下車

徒歩 10 分 <京成上野

駅から快速で 38 分>

新京成線

新津田沼駅下車

徒歩 3 分

